

◆水の江小学校 日課表

	時刻	月	火	水	木	金
朝	8:00	登校完了				
活動	8:00~8:10	朝学習				
	8:10~8:20	朝の会				
1	8:20~9:05					
2	9:15~10:00					
	10:00~10:15	ふれあいタイム				
3	10:20~11:05					
4	11:15~12:00					
昼活動	12:00~12:45	給食				
	12:45~13:00	昼休み	昼休み	昼休み	なかよし	昼休み
	13:05~13:20	そうじ	そうじ	そうじ	タイム	そうじ
5	13:25~14:10					
	14:10~14:20	帰りの会				
6	14:20~15:05			クラブ委員会		

◆職員構成（令和4年7月）

職名	氏名	職名	氏名
校長	阿部 あけみ	5年1組	藤岡 有香
教頭	林 徹	5年2組	金久保 憲司
教務主任	稲澤 健太	5年3組	小里 将吾
風は光る1組	佐々木 永太	6年1組	羽下 知美
風は光る2組	齋藤 くるみ	6年2組	牧田 由布子
風は光る3組	関谷 裕華子	6年3組	近藤 大地
風は光る4組	齋藤 由愛	理科専科	林 善幸
1年1組	小野田 瑞枝	外国語専科	本城 千晶
1組2組	國吉 清佳	少人数指導	江越 由梨
1年3組	岡 祐美子	少人数指導	仁科 俊
1年4組	深尾 美穂	初任者指導	大野 清美
2年1組	森 よし子	養護教諭	片井 小夜
2年2組	今 和希	主事	丸山 夏実
2年3組	島 叶子	用務員	黒岩 恭子
2年4組	篠原 令子	ALT	アレックス
3年1組	富川 亜希子	給食配膳員	野城 聡子
3年2組	平原 豪	給食配膳員	豊田 喜代美
3年3組	佐久間 洸一	学校司書	中村 みゆき
3年4組	田村 千絵子	心のサポーター	庄司 彰
4年1組	栗山 高志	学級補助員	中村 能子
4年2組	中山 正規	学級補助員	伊藤 久美子
4年3組	坂田 美月	学級補助員	花島 香里
4年4組	海保 聖奈	学級補助員	原 和泉

○校内研究テーマ

「わかる・できる楽しさを知り、生き生きと学ぶ子どもの育成」  
～算数科における基礎・基本が身につく授業づくりをめざして～

○研究内容

- 1 授業実践
- 2 基礎・基本を身につけさせるための教材研究
- 3 テスト・練習問題の取り組み
- 4 学習ルール・学習習慣の確立

◆主な学校行事

○1学期

- ・始業式
- ・交通安全教室
- ・避難訓練
- ・いじめゼロ集会①
- ・入学式
- ・1年生を迎える会
- ・学年別体育参観

○2学期

- ・始業式
- ・5年宿泊学習
- ・校内席書会
- ・6年生を送る会
- ・修了式
- ・6年修学旅行
- ・マラソン大会
- ・いじめゼロ集会②
- ・卒業式

◆PTA活動及び学校支援ボランティア活動

○PTA活動

- ・家庭教育学級の実施
- ・ベルマーク収集
- ・PTAだよりの発行
- ・ミニ集会の実施
- ・学校行事への支援活動
- ・資源回収協力
- ・通学路の危険箇所調査
- ・登校時の安全指導

○学校支援ボランティア

- ・交通安全指導ボランティア
- ・グリーンボランティア
- ・読み聞かせボランティア
- ・図書ボランティア

◆児童数（令和4年7月）

学年	風は光る	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級数	4	4	4	4	4	3	3	26
人数	22	138 (3)	124 (2)	132 (6)	134 (4)	105 (3)	107 (4)	740 (22)

令和4年度



# 市原市立水の江小学校

## 学校要覧



水の江小学校 校歌  
作詞 村瀬正康  
作曲 橋本祥路

一 風は光る 水の江の空  
爽やかに 爽やかに 胸ひろげ  
腕さしのびて 希望いっぱい  
この手につかもうよ  
水の江 水の江 水の江の空  
風は光る 風は光る

二 緑萌える 水の江の丘  
健やかに 健やかに 駆けぬけ  
地平を越えて 力いっぱい  
大地を蹴ろうよ  
水の江 水の江 水の江の丘  
緑萌える 緑萌える

三 花は開く 水の江の園  
清らかに 清らかに 澄む瞳  
未来高めて 若さいっぱい  
美しく咲こうよ  
水の江 水の江 水の江の園  
花は開く 花は開く

市原市立水の江小学校

〒290-0141

千葉県市原市ちはら台東2-15

電話 0436-52-1700

FAX 0436-52-3382

E-mail mizunoe-e@koumu.ichihara-chb.ed.jp



水の江小ホームページ

## ◆学区の概要

「ちはら台」は平成元年から居住の始まった街である。住民は全国各地から移り住んでいる。また、職業は会社員がほとんどで、千葉・東京への通勤者が多い。

本校の学区はちはら台東1, 2, 3丁目と6, 7丁目の一部である。児童は素直で明るく、基本的な生活習慣が身についている子が多い。保護者も教育に関して関心が高く、学校に寄せる期待も大きい。学校には協力的な家庭が多く、PTA活動も自主的に運営されている。

最近では住宅の建設に伴い児童数が更に増加している。今年度は739名でスタートした。

## ◆水の江小の歴史

平成元年 4月	ニュータウン「ちはら台」に水の江小学校開設
4年 4月	8教室増築完成 学級数22 児童数733名
6年 4月	学校分離により、清水谷小学校へ566名転出 学級数12 児童数 342名
10年 4月	学級数13 児童数 487名
11月	創立10周年記念式典並びに音楽鑑賞会
13年 11月	全国視聴覚教育研究会市原大会会場
16年 4月	特別支援学級「風は光る」開級
19年 4月	学級数22 児童数678名
20年 10月	創立20周年記念式典
21年 4月	学級数26 児童数838名
22年 4月	児童数増加により学校分離を行い、 新設ちはら台桜小へ492名転出 学級数13 児童数307名
28年 4月	学級数15 児童数402名
29年 4月	学級数16 児童数478名
30年 4月	学級数21 児童数541名
11月	創立30周年記念式典
31年 4月	学級数23 児童数606名
令和2年 4月	学童保育との複合施設が増築完成 3教室増 学級数24 児童数655名
3年 4月	2教室増 学級数26 児童数699名
4年 4月	学級数26 児童数739名

## ◆今年度の到達目標

- 豊かな心 (目標指数)
  - ・進んであいさつができる。(90%) ・学校が楽しい。(90%)
  - ・いじめゼロを目指す。(100%)
- たしかな学力
  - ・授業がわかる。(90%) ・進んで本を読む。(90%)
  - ・県学力調査、学習状況調査で県及び国の平均点を上回る。
- たくましい体
  - ・進んで外遊びをする。(90%) ・「早寝、早起き、朝ご飯」を心掛ける。(90%)
  - ・運動能力証取得。(50%)
- 家庭・地域との連携を強化する。
- ICTの活用。
- 新型コロナウイルスへの適切な対応を取る。

## ◆学校教育目標

豊かな心、たしかな学力、たくましい体の育成

～将来の夢に向かって努力する子ども～

### 市原市学校教育振興計画

めざす子どもの姿  
「自分の力を信じ、未来へ飛躍する子ども」

知 徳 体  
確かな学力 感性豊かな心 健やかな体

### めざす児童の姿

やさしく かしこく たくましく

### 市原市いじめ『ゼロ』宣言《三つの心》

- ①私たちは「正義の心」を大切にします
- ②私たちは「素直な心」を大切にします
- ③私たちは「優しい心」大切にします

思いやりのある子  
「あいさつ」

- 気持ちのよい挨拶ができる。
- 人の気持ちを大切にする。

### 「あいさつ・勉強・外遊び」

徳・知・体の調和のとれた教育活動。

- ・気持ちの良い挨拶が響く学校。

「㊦明るく・㊧いつも・㊨先に・㊩続ける」

- ・楽しくわかりやすい授業で学力向上を目指す。
- ・休み時間は外で元気に遊ぶ。
- ・楽しみながら体力作り。

進んで学ぶ子  
「勉強」

- 目標をもって勉強する。
- 相手を理解し、自分を表現できる。

### 「安全・安心・平等」

防災教育、危機管理、特別支援教育の充実。

- ・児童、教師ともに「自分の身(命)は自分で守る」意識と力の育成。
- ・日頃からの情報交換。何事にもチームで対応。
- ・児童や保護者の教育的ニーズに応える校内体制作り。

たくましい子  
「外遊び」

- 遊びを通じて心身を育てる。
- 自分の身は自分で守る。

### 「プロとしての自覚」

教師としての資質向上、不祥事根絶。

- ・教師＝教えるプロ。授業力、生徒指導力、人間関係形成能力の向上→研修、勉強
- ・教育公務員としての自覚。

### 「学校・家庭・地域の和」

大人の連携は子どもを育てる。

### 「教師の笑顔＝子どもの笑顔」

働きやすい職場作り。

### 「チーム水の江」

個性を生かしたワンチーム。

- ・それぞれの個性を尊重しあい、協力し、助け合う職員集団。
- ・楽しく働き、楽しく学び、楽しく語り合える仲間作り。

## ◆教育理念

子どもは未来の宝である。子どもに将来への夢と希望を持たせ、実現に向けて努力する姿勢を育むのが、教師の使命である。そのためには、まず教師自身が生きること、働くことに意義と喜びを感じ、身をもって子どもに示すことが大切である。そして、子どもが夢を実現するために必要な能力(徳・知・体)を身につけさせる技術のみがくことが、教師としての宿命である。